

寺 報

No.691

令和7年3月

蓮華寺
發行

御聖訓

佛^{ほとけ}の御意^{みごころ}あらわれて法華經^{ほっけ}の文^{もん}字^じとなれり、文字^{へん}変じて又佛^{また}の御意^{ごい}となる、されば法華經^{ほっけ}をよませ給^{たま}わん人^{ひと}は文字^{もんじ}と思^{おも}食^くす事^{こと}なかれすなわち佛^{ほとけ}の御意^{ごい}なり。

『木繪^{もくえ}二像^{にざう}開眼^{かいげん}事^{こと}』



(解説)

法華經の中で一番大事なお経である『如来壽量品第十六』の中に「ことごとく皆、恋慕を懷いて枯仰^{かうぎやう}の心を生ず」という一説があります。

お釈迦様の御教えはどれも素晴らしく、我々が皆恋慕うものでありますが、その中で、特に法華經は我々の魂を引きつけて離さない不思議な力があり、また心からお慕い続けたいという真実のやさしさが込められているという意味です。

それは、法華經が諸經の王であり、その文字の全てがお釈迦様の魂が込められた本心が書かれたものであるからなのです。

ですから、我々の法華經を求める心が強ければ強いほど、お力を貸してくれますし、また支えともなってくれるのです。

これから、我々の人生には様々な困難が降りかかるかもしれません。

でも、どんな苦しみや悲しみの中にあっても、一心に法華經を恋慕し、お題目を唱える事によって、それは克服出来るのです。

更に、霊神符（毎月のお守り）を身に着ける事で、常に我々を守る続けてくれるのです。

『春彼岸会』『星祭』

十七日(月)・二十日(木)・二十三日(日)

水 行・・・昼十二時半 大本堂前

法 要・・・午後一時 大本堂

法 話・・・約十分間

法 話 当 番		
十七日	塙 上人	
二十日	對馬上人	
二十三日	住職上人	



④『春彼岸会』と『星祭』の法要は三日間ですが、先祖供養は、残り四日間『朝のお勤め』の中で読み上げさせて戴きますので、ご安心下さい。なお、合わせて星(剣守札)もご祈祷します。

法要次第

- 一、勸 請(導師が唱えます)
- 一、開 經 偈(無上甚深微妙の)
- 一、お 經(漢字読み)

序品第一〜方便品第二〜如来寿量品第十六
【自我偈】〜如来神力品第二十一〜觀世音菩薩普門品第二十五〜咒陀羅

- 一、ご 祈 禱(法樂加持)
- 一、御 妙 判(如説修行鈔)
- 一、お 題 目(南無妙法蓮華經)
- 一、宝 塔 偈(此經難持)
- 一、星 祭 祈 願(導師が唱えます)
- 一、お 經(自我偈・漢字読み)
- 一、お 題 目(南無妙法蓮華經・僧侶は供養の読上)
- 一、彼 岸 回 向(導師が唱えます)
- 一、四 誓(衆生無辺誓願度)
- 一、お 題 目 三 唱

【法 話・・・約十分間】 以上
④ご祈祷のお経は速く読みますので、ご了承下さい。

お寺からのお知らせ

＊先祖供養(一週間)・・・八〇〇円

お彼岸の先祖供養は、お彼岸前に申し込みますと、一週間、またその後に申し込んだものでも、「彼岸明け」まで供養を続けさせて戴きます。

どうか、ご供養は出来るだけ、お彼岸前日迄にお申し込み下さい。

＊追 膳(一週間)・・・四、二〇〇円

お彼岸の追膳は『位牌堂』、三階『永代供養堂』、また、お預かりの『お骨』に一週間上がります。

「彼岸入り」以降のお申し込みも受け付けますが、期間中、一日だけという(特定の日)の受付はしておりませんので、ご了承下さい。

また、追膳は数に限りがありますので、お早目にお申し込み下さい。

＊剣 守 札(星)【一体・二〇〇円】

④星(剣守札)のお申し込みは、専用の申込書にお名前と性別・生年月日を書きの上、お早目にお申し込み下さい。なお、宗派は問いません。

「星」(剣守札)を
申し込みましょう！

当山では『星祭』の期間中、一週間、皆様のご家族のお名前と性別・数え年を記入しました「星」(剣守札)をお祀りして、その年の善星が皆来し、悪星が退散し、一年間無事安泰でありますようにと祈願します。その為に、当山僧侶が、十七日の彼岸の入り・二十日の中日・二十三日の明けの三日間、水行をし心身を清めてから、ご祈祷をします。

「星」はいわゆる「日曜星」土曜星の七曜星に、太陽と月をさえる「羅喉星」、彗星である「計都星」を加えました「九曜星」を、皆様の年令と性別によって配当していきます。

それで、我々はその年の自分の運勢を知り、これを元に行動し、更に法華経・お題目の信仰を持つ事によって、より一層安心した人生を送れるのです。

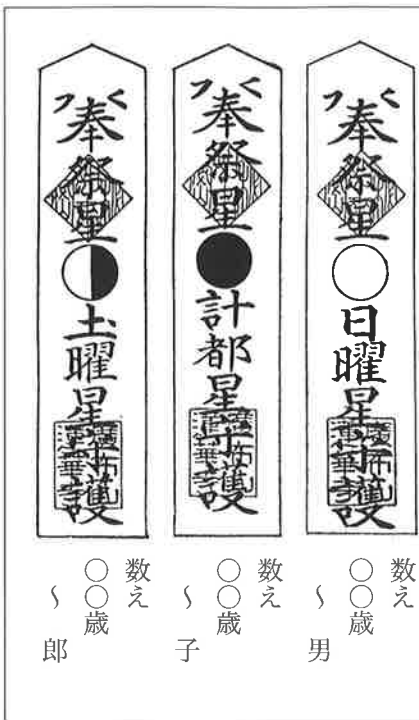
どうか、檀信徒の皆様は是非とも毎年この「星」(剣守札)をお申し込みになりますようにお願いいたします。また、今までお申し込みしていなかった方も、今年よりよろしく願います。

星（劍守札）のまつり方

お寺より【星】を戴きましたら、そのままにしておかないで、必ず厚紙に貼り、各自の数え年と名前を書き、自宅の御寶前か仏壇の下の方にお祀りして、毎朝拝むようにして下さい。

また、昔より仏間のカモイに貼る家庭もあります。とにかく、一年間大事にお祀りする事が大事です。

令和七年度星祭



※なお、五枚まで貼れる専用の台紙も、事務所にて販売しております。

水行

当山の本寺に当ります、京都大本山『妙顕寺』開山の日像上人が、日蓮大聖人の帝都（京都）開教のご遺命を受け、妙法広布の大願成就を祈念する為に、またいかなる法難を堪え忍ぶ事が出来るようにと、鎌倉由比ヶ浜の海で、百日間の法華経読誦・お題目、そして水をかぶられたのが、日蓮宗での寒中水行の始まりといわれています。

この伝統を守り、日蓮宗の『大荒行堂』では、毎年十一月一日から翌年二月十日までの百日間、午前三時より午後十一時までの一日七度の水行が行われます。本来、水には靈気があるといわれ、水をかぶる事で自らの罪障消滅をし、また忍難受苦の強い精神を養う事が出来るのです。

その為に、日蓮宗での水行は特に重要な意味があるのです。当山では『お彼岸』に合わせ、『星祭』の行事として僧侶が三日間の水行をしますので、どうか皆様も参拝しお力添え戴き、そしてご祈祷を受けて下さいますようお願いいたします。

三月十三日（木）

午後一時より

場所…大本堂

えはんねそんしゃく
会繁涅槃尊釈



釈尊入滅

*お釈迦様が亡くなられました、祥月命日の日です。
*十三日のお勤めの中で、一緒に執り行います。
*お釈迦様へのお供物もお受け致します。

『靈断』

檀信徒の皆様で、何か困り事や悩み事がありましたら迷わず蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『九識靈断法』にて、当山僧侶が解決、ご指導します。

なお、宗旨宗派は問いません。

必ずご予約下さい。（☎七七六―五八四〇）まで

【一件：三千円となります】

『聖徒団会員』募集！

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、当山住職が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする新聞【聖徒タイムズ】・寺報等の援助などに活用します。

会費・・・年額二、四〇〇円（月二百円）

『提灯』募集！

当山で『お正月』『鬼子母神大祭』『御会式』に下げます『提灯』（トロー）を募集しています。

作成価格は八千円、年間の管理費が二千円ですので、初年度は一万円となります。

三月の行事

一 日(土) 盛運祈願会

午後一時より

- ・お守り【靈神符】の交換の日です。
- ・自ら進んでお勤めに参加し、お経を唱えましょう。
- ・聖典(お経本)と数珠は必ずご持参下さい。
- ・蓮華寺檀信徒の方は、必ず【靈神符】をお持ち下さるようお願い致します。



十三日(木) 日蓮大聖人のご命日

午後一時より

- ・お経
如来神力品第二十一(訓読・日本語読み)
如来寿量品第十六(真読・漢字読み)
- ・皆様も日蓮大聖人さまの御報恩を忘れずに参拝し一緒にお経・お題目を唱えましょう。

十三日(木) 釈尊涅槃会

午後一時より

- ・十三日のお勤めの中で執り行います。

『春彼岸会』・『星祭』【三日間】

十七日(月)・二十日(木)・二十三日(日)

【水行】 昼〇時半より
【法要】 午後一時より

☆奉仕のお知らせ

十四日(金) 星祭の準備

男女共・午前十時より

*星祭の祭壇、水行等の準備

十七日(月) 【彼岸入り】

男女共・午前十時より

二十日(木) 【彼岸中日】

男女共・午前十時より

二十三日(日) 【彼岸明け】

男女共・午前十時より

⑨『春彼岸会・星祭』の行事は三日間ですので、ご奉仕とご参拝は日程・時間をお確かめの上、お願いします。

また「水行」のお手伝いは、人手が沢山必要ですので、一日でも多くご奉仕下さい。

特に二十三日(日)は星祭のお札を渡す日ですので是非ともご協力をよろしくお願い致します。

部員以外の檀信徒のお手伝いも大歓迎致します。

☆『春彼岸会の追膳』

十七日(月)～二十三日(日)まで一週間

『お彼岸の追膳』のお手伝いは一週間、朝【午前六時～七時半頃迄】夕【午後三時～五時頃迄】ですのでお手伝い出来ます方は時間までご集合下さい。

⑩お手伝い希望の方は、教宣部員以外でも歓迎しますので、どうぞ時間までご集合下さい。

◎教宣部長 杉淵昌三

☆『永代供養塔』のご供養

当山境内に安置しています『永代供養塔・水子観音像・日持上人石塔・動物供養塔』の〈春彼岸供養〉は、三月二十日(木)午前十時三十分より、住職上人が、まず大本堂にて永代供養の読み上げ、ご回向をし、その後境内の各塔でご供養をしますの、ご一緒に参拝出来る方は時間までにお越し下さい。
(自由参拝です)

盛運祈願会に参拝し

懺悔文を読みましょう！

懺悔さんげとは懺悔滅罪の事をいい、いわゆる自らの罪を滅し、心から反省して、我々本来の仏の心に戻すという意味です。

皆さんの中で、この世に生を受けて以来、現在に至る迄、全く罪を犯した事がないという人はいないでしょう。

皆様が読みます『聖典』(お教本)の『懺悔文』の中に説かれた罪には、誰でも関わりあいがあるはずですよ。よく「私は一生懸命祈っているのに、何故か願いが叶わない」などといっている人に限って、自らの懺悔という事を忘れているのです。

それは、我々が現在の罪だけでなく、過去からの前世また先祖からの罪も受け継いでいるからなのです。

その点を良く考えてみますと、大罪・小罪に関わらず自らが懺悔滅罪を実行していく事が大切なのです。

特にお寺の御寶前で、諸天善神に守られながら、毎月一日の『盛運祈願会』に参列し、懺悔文と法華経、そしてお題目の力で因縁罪障を消滅しましょう。

『春彼岸会』『星 祭』

三月

十七日(月)・二十日(木)

二十三日(日) の三日間

水 行・・・・・・昼十二時半より 大本堂前

* 檀信徒の皆様への応援をよろしくお願いします。



妙見菩薩



法 要・・・・・・午後一時より 大本堂

法 話・・・・・・約十分間 法要終了後

(先祖供養・追膳・星【剣守札】・供物は受付中)

* 『水行』^{すいぎょう}『法要』は彼岸の入り・中日・明けの三日間ですので、檀信徒の皆様もご注意の上、ご参拝下さい。なお、ご供養は残り四日間「朝のお勤め」の中でご回向します。